

セブン&アイグループの「サステナビリティ宣言」

あした
明日にいいこと。つなげる、つづける。

新型コロナウイルス感染症を契機に生活様式や社会環境など、さまざまな変化が急加速し、先行きの見通しが困難な時代と言われています。このような時代の中、経済的な成長と社会課題の解決を両軸とした持続可能な事業活動を通じて、社会に価値を提供し続けることこそが、当社グループに課せられた責務となっています。

すべてのステークホルダーの皆様から「信頼される、誠実な企業でありたい」という社是を礎に、「常にお客様の立場に立って、新たな体験価値を提供し続ける」ことをグループの基本姿勢としています。

この基本姿勢のもと、社会課題の解決につながる活動を、すべてのステークホルダーの皆様とともに毎日の暮らしの中で一緒に取り組めるグループであり続けるために2021年4月、「サステナビリティ宣言」を定めました。皆様とこの思いをともにし、より良い未来に向かってできることを実践し、これからも挑戦してまいります。

私たちの考え

なぜ私たちは、暮らしを変えるのでしょうか。
何をすれば、未来にやさしくなれるのでしょうか。
誰ひとり取り残さない未来は、誰が作るのでしょうか。
いつまで、いつもの今日が続くのでしょうか。
どうすれば、みんなの力を合わせることができるのでしょうか。

セブン&アイグループは、みなさまと一緒に答えを探しています。
たとえ、ひとりではできないことでも
みんなでつなげれば、きっとできることがある。

ひとりのアクションは、小さくても、
みんなでつづければ、やがて未来は変わりはじめる。

毎日の暮らしの中で、みなさまと一緒にできることを。
「明日にいいこと。つなげる、つづける。」

How? どうすれば、環境と社会の両方を良くできるのでしょうか。

環境と社会の両方を良くするためには、さまざまな取り組みが必要です。例えば、エネルギーの効率化、廃棄物の削減、社会貢献の推進などです。

明日にいいこと。つなげる、つづける。

4月13日 日本経済新聞 広告

What? どうすれば、エネルギーを無駄にしないのでしょうか。

エネルギーを無駄にしないためには、省エネ対策の推進が必要です。例えば、LED照明の導入、空調の適切な設定などです。

明日にいいこと。つなげる、つづける。

5月19日 日本経済新聞 広告

Who? 誰が取り組むべきなのか、誰がやるのでしょうか。

持続可能な社会の実現には、すべてのステークホルダーの協力が不可欠です。従業員、顧客、取引先、地域社会と連携して取り組んでいきます。

明日にいいこと。つなげる、つづける。

6月10日 日本経済新聞 広告

When? いつまで良い生活が、続くのでしょうか。

持続可能な社会を実現し、未来に良い生活が続くように努めます。環境と社会の両方を大切に考え、持続可能な成長を目指します。

明日にいいこと。つなげる、つづける。

7月7日 日本経済新聞 広告

セブン&アイグループの「サステナビリティ宣言」
特設サイトはこちら

